

# 初の自転車安全アドバイザー

# 村上さんに委嘱状

県警



委嘱状を手し笑顔を見せる村上さん(左、県警本部で)

## うべ交通まちづくり市民会議会長

うべ交通まちづくり市民会議会長の村上ひとみさん(68)が4日、県警から初の自転車安全アドバイザーに委嘱された。村上さんは宇部市内で自転車や徒歩で移動しやすい交通環境づくりに取り組んでおり、県警と連携し、自転車交通事故の防止を目指す。

委嘱状交付式は県警本部で開かれた。永友徳行交通部長から委嘱状を受け取った村上さんは「宇部で自転車のまちづくりを始めてから11年。これまでの活動を認めていただき大変うれしく思う」と喜びを語った。

県警によると、県内の交通事故件数は全体では減少傾向にある。一方、自転車乗車中の事故は横ばいで、今年の上半期(1～6月)は昨年同期と同

じ162件。県警は自転車事故の防止に向けた検討会議を今年度から開催しており、自転車ナビマークの設置や交通安全教育のノウハウを有する村上さんをアドバイザーに委嘱。村岡さんは有識者として会議に参加し、県警の取り組みについてより実効性を高めるための助言などを行う。

村上さんは山口大非常勤講師で、専門は建築防災学。防災をテーマとしたまちづくりを研究するうち、車に頼った移動には限界があると実感。自転車の有効活用を進めようと、交通環境づくりに携わるようになったという。県の交通環境については、自転車が歩道を走行することで、歩行者が歩きづらくなっていると指摘。車道に自転車レーンを設置するなどの対策で「歩道が活用され、人が行き交うまちができる」との見解を示し、アドバイザーとしての活動に意欲を見せていた。(重岡)